

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 19 日

事務事業名		医療費助成事業				事業区分			担当	
						新規/継続 単独/補助		継続 補助		事務事業No. 010704000381
政策体系上の位置付け										
総合計画の施策名		0107		社会保障制度の健全運営				所属課		030201
政策名		01		子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				課長名		国保年金課
施策名		07		社会保障制度の健全運営				グループ		医療年金G
手段名		04		④医療福祉費支給制度(マル福)の充実				担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目		会計	款	項	目	事業細		一般会計		
		01	03	01	05	02	00	医療福祉事業		
法令根拠						茨城県医療福祉対策要綱・桜川市医療福祉費支給に関する条例				
【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)										

(1) 事務事業の概要										
手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)					②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	小児・ひとり親・重度心身障害者・妊産婦が保険医療機関等を受診した際、保険給付の一部負担金の助成を行う。 医療保険各法の規定による(同一医療機関受診の際、外来自己負担金600円を月2回/入院自己負担金は300円を10日間上限3,000円までを除く)患者負担分を公費で助成。(県内は現物・県外は償還対応) 身体の発育が未熟な状態で生まれ、指定医療機関において入院治療を受ける場合の保険診療による自己負担分を公費で助成する。(世帯の課税状況により一部負担金が発生)					【マル福関係】 申請に基づき、受給者証の交付(新規) 県内医療機関受診者の現物払い・県外医療機関受診者の償還払い事務 受給者の月次・年次更新・資格過誤調整・給付状況の確認・相談等・資格データ修正・補助金申請及び実績報告 【未熟児療育医療関係】 申請に基づき、医療券の発行・医療費の支払い・自己負担金の徴収等 補助金申請及び実績報告				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移											
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)				単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
小児・ひとり親・重度心身障害者・妊産婦に対し、保険給付の一部負担金の助成を行う。 身体の発育が未熟な状態で生まれ、指定医療機関に入院治療を受ける場合の、保険診療による自己負担分の助成を行う。		医療費助成件数				件	72,698.00	78,523.00	98,000.00	98,000.00	98,000.00
		医療費助成金額				千円	259,040.00	268,131.00	313,039.00	313,039.00	313,039.00
		電算業務委託料				千円	867.00	904.00	1,107.00	1,107.00	1,107.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)				単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
小児(0歳から高校3年生相当)・重度心身障害者・ひとり親世帯・妊産婦		医療福祉費受給者数				人	8,663.00	8,403.00	9,345.00	9,345.00	9,345.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)				単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
制度の対象要件該当者の医療費に係る経済的な負担軽減を図る		資格要件のある者が医療費の助成を受けている割合				%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移						02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事 業 費 内 訳	国庫支出金		千円	722	482	802				
		県支出金		千円	97,905	103,891	119,527				
		地方債		千円	0	0	0				
		使用料・手数料		千円	0	0	0				
		その他		千円	28,227	28,236	32,810				
		一般財源		千円	138,151	141,457	167,758				
		事業費計(A)		千円	265,005	274,066	320,897				
正規職員従事人数		人	4.00人	4.00人	4.00人						

03年度事業費 実績(千円)					04年度事業費 予算(千円)				
10	需用費	268			10	需用費	295		
11	役務費	4,352			11	役務費	6,192		
12	委託料	904			12	委託料	1,107		
13	使用料及び賃借料	253			13	使用料及び賃借料	264		
19	扶助費	268,131			19	扶助費	313,039		
22	償還金利子及び割引料	158							
合 計				274,066	合 計				320,897

事務事業名	医療費助成事業	事務事業No.	10704000381	所属課	国保年金課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和48年4月、乳児・身体障害者を対象に経済的負担の軽減を図るため、医療費助成事業を実施。その後一人親・妊産婦等何度が改正があり、平成26年10月、県事業対象年齢拡大(小3→中3まで)小学生まで入院・外来。中学生は入院のみ助成。平成29年10月、市単独事業対象の年齢拡大(中3→高校3年相当まで)。平成30年10月、県事業対象年齢拡大、高校生まで入院のみ助成となった。令和4年10月より後期高齢者の自己負担割合の2割負担導入に伴い令和4年度から医療福祉費の助成額が増加すると思われる。					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか？					
平成29年10月からの高校3年相当までの市単独事業年齢拡大に伴い、医療費の心配がなくなり安心した等の意見が寄せられた。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 医療費の助成を行い経済的負担を軽減することで、受診の機会を促し、必要な時に安心して医療が受けられる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 県補助事業に対して実施する事業。受診者に対し、医療費の自己負担金を助成し、疾病の早期発見や必要な時に安心して医療が受けられるようにする。市の取り組みに沿うものである。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 転入・出生・身体障害者等手帳取得者・障害年金1級取得者を把握するため、担当部署との連携を図っている。医療費助成事業の周知に努めている。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 受給者の自己負担が増え、経済的負担が大きくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 県補助事業に対して実施する事業、統廃合はできない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 茨城県の補助事業・市単独事業。事業費は全額扶助費であり削減はできない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 安心して医療が受けられるという、医療費の助成事業であるため、受益者負担を求める余地はない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																									
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	郵送や窓口での交付にあたり、必要な書類の確認等を行い、通常業務を行った。今後も県の動向を注視していく。																									
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
(3) 今後の事業の方向性																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																											
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									
		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×		低下			×
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上			○																							
	維持			×																							
	低下			×																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																									
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>